

# 総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	平成31年度						<b>総合計画実施計画策定及び行政評価シート</b>						
事務事業名	いばらき伝統的工芸品産業イノベーション推進事業（地方創生）						予算事業名	まち・ひと・しごと創生事業費					
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	地域再生計画				
			07	01	03	70	経常経費						
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり（産業）						事業の区分	主要事業					
	3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興（観							商工観光課					
	①地域資源を活用した観光の振興						担当課係等	商工振興係					
1地域資源を活用した観光の振興													
事業期間	継続（平成28年度～平成30年度）												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
3産地と連携し共通のプラットフォームを構築し、地域資源となる結城紬のブランド向上や生産反数の増加、後継者不足の解消、販路拡大に取り組み、産地の稼ぐ力・稼ぐスキルの底上げを図り、協議会の経営安定化をはじめ自立・自走可能なビジネスモデルを目指す。						茨城県の伝統的工芸品である結城紬（結城市）、笠間焼（笠間市）、真壁石灯籠（桜川市）の組合と関連自治体（県・3市）により産地の活性化を図ることを目的として「茨城県伝統的工芸品産地交流促進協議会」を設置。将来的に組織の自立化を図る。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
3産地の振興を図るため、茨城県伝統的工芸品産地交流促進協議会に地域商社機能を持たせたプラットフォーム機能を構築し、戦略的な市場開拓（求評宣伝会・きものサローネ）や人材育成（糸つむぎスターターズキット）、新商品開発等の活動を積極的に展開するとともに、産地戦略ビジョン策定、地域商社のあり方を検討する。						茨城県伝統的工芸品産地交流促進協議会に対して負担金として拠出する。							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						結城紬は、消費者の嗜好・ライフスタイルの変化や長引く景気低迷などによる需要減少、従事者の高齢化、後継者不足の問題を抱えている。							
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】							
産地間連携・官民協働による稼ぐことに主眼を置いた地域商社機能を有する協議会を主軸に、産地戦略ビジョンに沿って市場開拓・新商品開発・人材育成に一貫した活動を戦略的に取り組む。※地域再生計画では平成31年度より自立を図るため、一般財源の支援なし			産地間連携・官民協働による稼ぐことに主眼を置いた地域商社機能を有する協議会を主軸に、産地戦略ビジョンに沿って市場開拓・新商品開発・人材育成に一貫した活動を継続して戦略的に取り組む。※一般財源の支援なし			産地間連携・官民協働による稼ぐことに主眼を置いた地域商社機能を有する協議会を主軸に、産地戦略ビジョンに沿って市場開拓・新商品開発・人材育成に一貫した活動を継続して戦略的に取り組む。※一般財源の支援なし							
<b>■事業費</b>													
財源内訳	国庫支出金			H29年度	2,338	H30年度	4,167						
	県支出金				0		0						
	地方債				0		0						
	その他				0		0						
	一般財源				2,339		4,167						
歳入計（千円）				4,677		8,334							
歳出内訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	19 負担金補助及び交付金			4,677		8,334							
歳出計（千円）（A）				4,677		8,334							
伸び率（％）						78.19							
備考	総合計画 ページ 予算書129ページ												

# 平成29年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	新商品開発支援件数	件	目標	5.00	5.00	0.00
	異業種起業やデザイナー・バイヤーなど外部人材の参画を得て新商品開発を行う。 ※H29から実施予定		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	市場開拓活動件数（商談成立件数）	件	目標	3.00	6.00	0.00
	3産地において商談を成立させ販売につなげた。※H29実績 8件のうち2件が結城紬		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	茨城県の伝統的工芸品（結城紬・笠間焼・真壁石燈籠）である産地が一緒に事業展開することで、新たな流れができる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	市が関わる部分と組合の役割分担を決め、実施していかなければならない。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	市が関わる部分と組合の役割分担を決め、実施していかなければならない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	各組合の偏りがないように調整する必要がある。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	地域資源を活用した観光客の誘客も併せて推進する必要がある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	組合単独で実施するのではなく、官民の連携・協働を行うことで、伝統的工芸品としてのブランド力向上が図られる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	現状をしっかりと把握し、積極的に展開していく。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

伝統的工芸品である結城紬は、消費者の嗜好・ライフスタイルの変化等による需要減少、後継者不足の問題を抱えており、産地の危機感が高まっているものの、現状と要因を正確に分析できないのが現状である。また、組合単独での新たな市場開拓、商品開発力の向上に取り組んでいるが、ノウハウや人材・資金不足により中長期的に戦略することは難しいと思われるため、県・3市と組合が一体となり、産地の稼ぐ力を高め、結城紬の振興と地域経済の活性化を図る必要がある。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

組合単独ではノウハウや資金不足により、ストーリーやビジョンが乏しいため、県・3市と組合が一体となり、ビジョン策定を行ない、産地自身が継続的に稼ぎ自立していくために必要不可欠となるノウハウの獲得と事業のサポートをする。

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>自立に向けて誘導し、H30年度をもって交付金事業を終了とする。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>